

連携先	WinActor	利用シーン	業務自動化	業種	情報通信業
-----	----------	-------	-------	----	-------



WinActorとASTERIA Warpを連動

フロントからバックエンドまでの業務を完全自動化しRPAを実現！

手作業で行っていた月末月初の業務をロボット化し作業時間を大幅削減、作業ミスも防止

株式会社フォーバルテレコム

東京都千代田区神田錦町三丁目26番地一ツ橋SIビル2F

URL <http://www.forvaltel.co.jp/>

従業員数 連結 276名 (2017年3月末現在)

(注) WinActorはNTTアドバンステクノロジー社が開発しているRPAツールです。

導入背景

株式会社フォーバルテレコムは、IP電話サービス「AmaVo」「iSmartひかり」をはじめとする各種ソリューションサービスを展開する成長企業。同社は手作業では処理しきれないBtoCビジネスの受注業務、決済業務を5年前よりASTERIA Warpで自動化していた。しかし、その後のビジネスの伸長により、これまではシステム化するほどでもないと考えていた雑多な手作業の分量が膨らみ、最近では情報システム部内運用担当者の月末月初の残業過多が常態化するようになっていた。

課題

- 代理店からの情報が届いた際に実行するフローなど、情報システム部門内で手動実行しているASTERIA Warpフローが約60本ある。手動実行のため誤実行のリスクあり。
- ASTERIA Warpフローの実行は情報システム部でしか行えないため、本来業務部門で行うべきフロー実行のための下処理（ファイルセットなど）も情報システム部門で実施。
- 取引先増大により、月末月初の手作業が増大し、残業過多が常態化。

導入

- RPAによる業務自動化を決断。複数社のRPAツールを比較・検討した結果、最もシンプルなUIを持つWinActorを採用。
- 各業務ごとのASTERIA Warpフロー実行ボタンを社内Webページ上に作成。WinActorでシナリオを組み、フロー実行に必要なファイルセットなどの下準備を行った後、Webページ上のASTERIA Warpフロー実行ボタンを押下するまでをWinActorで自動化。

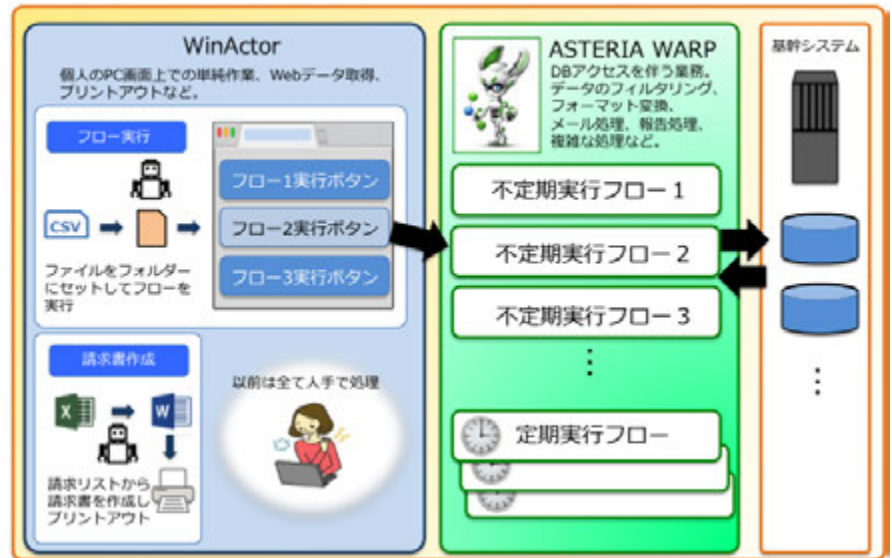
効果

- フロント業務をWinActor、バックエンド業務をASTERIA Warpで自動化。さらにこれを連動させることで業務の完全自動化を実現。
- 人手を介さずASTERIA Warpフローを実行することにより誤実行を防止。
- 情報システム部でしかできなかったASTERIA Warpフローの実行を業務部主体で適時実行可能に。
- 運用担当者の月末月初の業務負荷を大幅に削減。

今後の予定

- WinActorで各種Webサイトから取得したデータをASTERIA Warpで切り分けて代理店にレポート送信していきたい。
- お客様の基幹システムまでASTERIA Warpで連携する自動化代行サービスをリリース。

利用イメージ



ASTERIA WarpとWinActorの切り分け指針

- ASTERIA Warp：DBアクセスを伴う業務。データのフィルタリング、フォーマット変換、メール処理、報告処理、複雑な処理など。
- WinActor：個人のPC画面上での単純作業、Webデータ取得、プリントアウトなど。
- どちらでも実装可能な業務については業務手順が確定しており、かつデータ件数が一定数以上（1,000件を越える場合はWinActorでは処理時間が長時間となり運用が厳しい）の場合にはASTERIA Warpで実装するのが望ましい。

お客様から一言



ASTERIA Warpはプログラミングをより簡単に行えるようUIをラッピングしていますが、RPAツールはASTERIA Warpをさらに事務レベルのUIでラップしたようなものと言えます。UIをかぶせることでその分できることの制約も出ますので、より高度な処理を行いたい場合には、RPAツール→ASTERIA Warp→プログラムの方向で呼び出して使っていくと良いのではないかと考えています。

経営管理本部システム開発部
部長 内海 義朗 様